

浜益区自治懇話会

令和7年12月8日 石狩市長 加藤 龍幸

「石狩市のエネルギー施策について」



石狩湾新港地域の“新たな価値”とは



多様な産業と再エネ電源が集積する石狩湾新港地域



コストコ石狩倉庫店



スーパー ホテル 石狩



データセンター



大型物流施設



木質バイオマス発電所

石狩市には、北海道民の生活を支える大きな港がある

港の近くには、たくさんの企業がいて賑わっている



オンデマンド交通や自動配送ロボットの実証フィールドにも

さまざまな再生可能エネルギー電源

ISHIKARI 

エネルギー産業集積状況 (建設中・計画中を含む)



再生可能エネルギーの大規模集積

太陽光発電

工業団地の広大な敷地面積を
活用して展開されている。
データセンター事業者などが
自家消費用に整備する設備も増
えている。



陸上風力発電

「職住分離」に基づいて整備された工業団地の特性と良好な風況を生かし、多く展開されている。

FITからFIPに移行した電源が市内小中学校に電力供給するケースも。



石狩新港バイオマス発電所

奥村組、九電みらいエナジー、
New Circle Energyによる出資
により建設。国際貿易港に隣接
し、海外から燃料となる木質ペ
レットとPKSを輸入できる立地
の優位性がある。

発電出力

51,500kW

運転開始

2023年3月2日



合同会社グリーンパワー石狩による
洋上風力発電（港湾区域）

発電出力

8,000kW×14基

計 112,000kW

運転開始

2024年 1月 1日

※全国で 2か所目



一般海域「石狩市沖」について

ISHIKARI

「石狩市沖」の海域



石狩湾新港洋上風力発電所

【石狩市沖の概要】

面 積 : 122km²

水 深 : 15~50m

離岸距離 : 2.5~6km

海岸線沿い全長 : 60km

【石狩市沖での事業想定】

設置基数 : 76~91基

発電容量 : 91万kW~
114万kW

- ✓ 2030年代前半の開発可能性
- ✓ 現在は、漁業者など地域のステークホルダーで構成する「法定協議会」の開催を待っている状況

洋上風力発電による変化

① 交流人口の増加

- ✓ 建設関連の作業員の往来
- ✓ 視察者数の増加
→令和6年度実績 **100件 1,200人**
- ✓ 道内学校の課外学習のフィールドに
- ✓ 東京都立杉並工科高等学校による教育旅行

市内の新たなホテル開発も

② 地域企業の振興

- ✓ 洋上風力、GX関連産業に関する地域企業のビジネスチャンス創出
- ✓ 地域企業の“横のつながり”を生み出す「組織体」の結成
- ✓ 秋田県秋田市との洋上風力関連産業振興に向けた研究会設立

新港地区へのビジネス需要見込み175室 たびのホテル石狩
開業

和泉優大 有料記事

2025年10月20日 20:07

建設 | 再開発

#建設 | 再開発 #エネルギー・GX #経済 #社会 #石狩市 #石狩 #北海道新着



「北海道新聞デジタル」より

<https://www.bokkaido-np.co.jp/article/996133/>

石狩市が目指す再エネの地産地活

- 1 地域でうまれた再エネを地域で活用する
- 2 地域にうまれたチャンスを地域の活力に

再エネの**地産地活**を推進し、
先導的な**“GX”** の推進地域を目指す

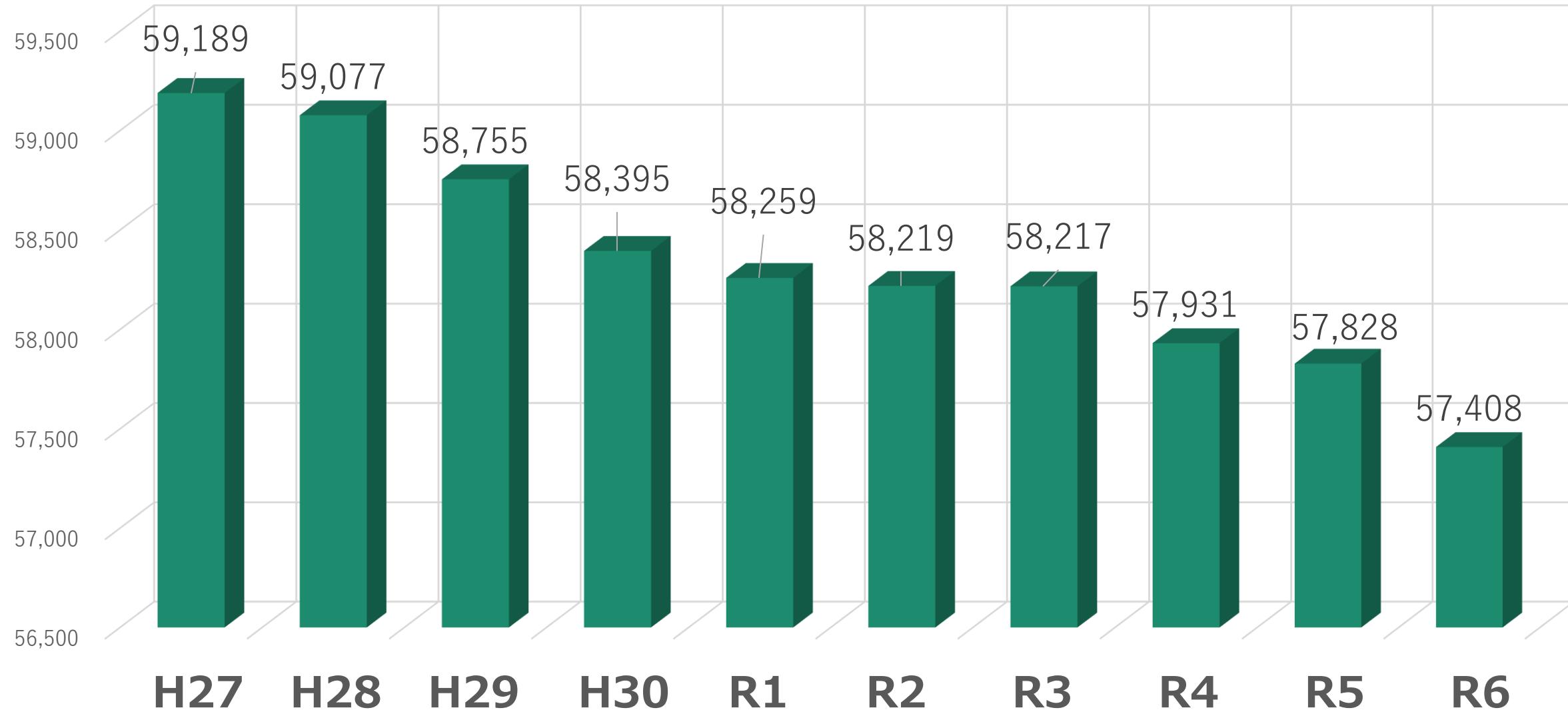
#Green Transformation

脱炭素地域の実現＝産業の成長・発展



地域にメリットを生み出すための“地産地活”

ISHIKARI 



H27

H28

H29

H30

R1

R2

R3

R4

R5

R6



地域にメリットを生み出すための“地産地活”

ISHIKARI

いしかりのこれからの中づくり

30年後のまちのイメージ

まちづくりのミッション

30年後の『まちの持続』

「このまちに住み続けたい」



人口減少、少子高齢化で日本中の地域が大ピンチ！

石狩市は「地産地活」で30年後の生き残りに挑戦

いくまち、それがさらにまちの魅力の向上につながっていく、
そんなまちを目指します。

※1 コミュニティビジネス:市民等が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法
により解決し、その活動の利益を地域に還元するという事業のこと

※2 低炭素: 地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を、現状の産業構造やライフ
スタイルを変えることで抑えること

※3 ライフスタイル: 生活の様式・営み方。また、生産・循環・習慣などを含めた生き方



目指すまちの姿(将来像)

創造

文化、交流、
創造するまち

歴史・文化が市民に脈々と受け継がれ、地域への
愛着につながり、市民が新しい産業や魅力、価値を
創造するまちを目指します。

絆

絆や人のつながりを
大切にするまち

地域で暮らすいろんな世代の人々が、互いに支えあい
ながら、みんなが安心して幸せに暮らすことができる
絆や人のつながりを大切にするまちを目指します。

環境

幸せに暮らす
環境があるまち

優れた資源を有効に活用し、市民の暮らし・学び、
産業、低炭素^{※2}などの豊かなライフスタイル^{※3}や
多様性を支える環境があるまちを目指します。

都市像が実現されることによって石狩PRIDEに!

石狩 PRIDE
いしかりへの愛着、誇り、そこでの幸せな暮らし
目標まちの姿(将来像)の実現に向けて、市民とともにまちづ
くりを進めていく愛着や誇り(石狩PRIDE)を持った
市民の姿です。市民が、まちの自然や文化、魅力に気づき、愛着や
誇りを持って暮らしている姿がたくさんあるまちを目指します。

地産地活の中心、REゾーン構想



REゾーン構想とは

- ✓ 石狩湾新港地域に設定した100haのエリア。REゾーンに立地してくれた企業には「地域の再エネを100%供給する」というコンセプトで企業誘致をしている
- ✓ 世界的な脱炭素への意識の高まりにより「再エネを使いたい」という企業が増えている

REゾーンを中心とする石狩湾新港地域全景（令和6年現在）



写真提供：石狩湾新港管理組合

脱炭素に向けた主な動向

- ✓ 菅義偉総理が2020年に「カーボンニュートラル宣言」をして以降、日本全国で脱炭素に受けた動きが加速
- ✓ 自治体のほか、企業も同様で再エネの活用や省エネなどさまざまな取り組みを推進している
- ✓ 世界的にビジネスを開拓する企業は「脱炭素していない企業とは取引しない」ということも…
- ✓ 「〇〇（企業名） 脱炭素」「〇〇 再エネ」と検索すると各企業の取り組みがヒットする（はず）

新時代を支えるデータセンター

データセンターとは



YouTubeの動画データも
世界中のどこかのデータセンターに…?

- ✓ 大量のデータを保存したり、計算したりする施設
- ✓ 世界的なIT化に伴い、社会的な意義が増している
- ✓ 取り扱うデータ量の増大により、大量の電力を使用する施設となっている

→ 脱炭素に向けた世界的な流れもあり「再エネ利用」が求められる施設に

データセンターの立地場所に求められる主な要件

1. 災害リスクが少ないこと
2. 電力・通信インフラが整備されていること
3. アクセス性の良さ



データセンター立地に関する近年の動向

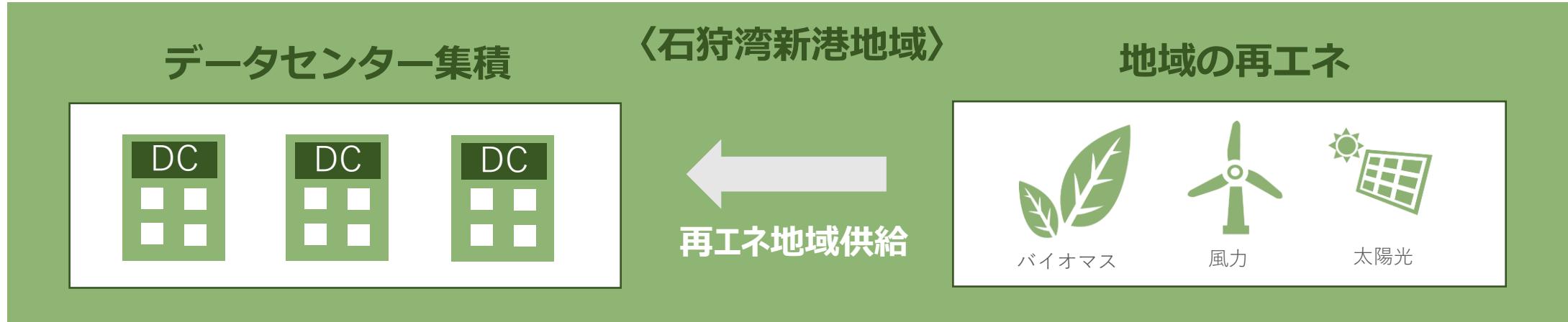
- ✓ 再エネの活用が求められている
- ✓ 国が首都圏・関西圏に集中するデータセンターの地方分散を進めている



石狩市は
グリーンデータセンターの適地



北海道石狩市



IT、DX、IoT、AIなどによる
データセンター市場の拡大

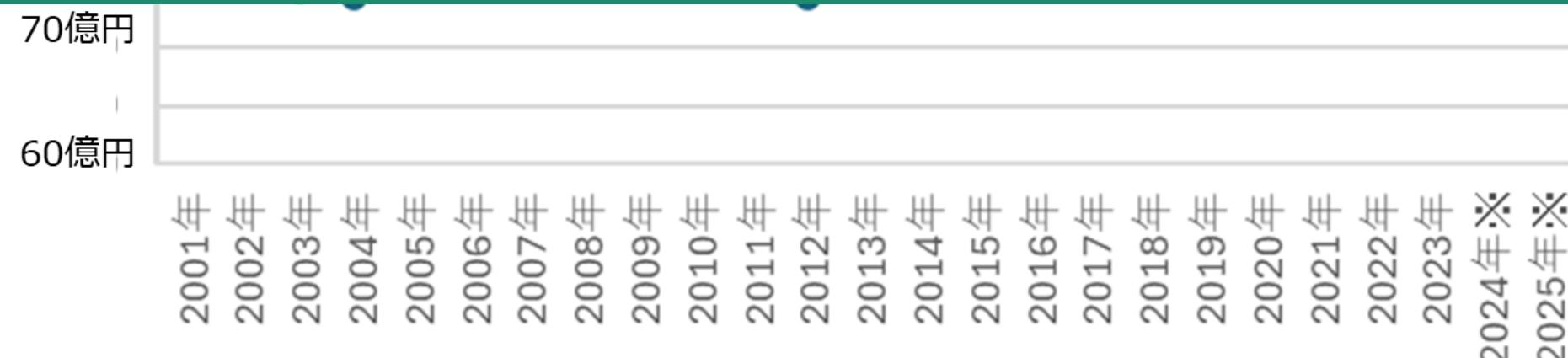
再エネ導入の加速
電力・通信インフラの一体整備

石狩市の再エネを首都圏に送るのではなく…
首都圏の電力需要を石狩市に誘導する



石狩市の市税収入の推移（2001～2025年）

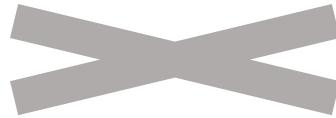
- 1 再エネ電源集積と「地産地活」により、大型施設が市内に集積
- 2 大型施設の集積で「固定資産税」
=大きな建物に多く課税される市の収入 が大幅増加
- 3 固定資産税が道路維持、福祉、子育てなど市民生活を守る財源に



※は当初予算

石狩市の課題

人口減少、少子高齢化、頻発する災害など、**多様化する地域課題を解決しなければならない。**



市内のデータセンターの活用

密漁調査の自動化

ごみ処理の効率化

ブルーカーボン事業

公共事業の効率化

データセンターがあるマチに暮らす“価値”を市民に提供



2010年代～

2020年代前半～

2020年代後半～

2030年代～

再エネ電源の集積

データセンター集積

地域DXの推進

さらなる利便性向上



恵まれた環境を求めて、再エネ電源が集積する

再エネ電源を求めて、データセンターが集積する

データセンターを活用して、暮らしやすいまちになる

へのメリット

- ✓ 電源開発による**交流人口増**
- ✓ 完成した**電源による税収**（市の自主財源確保）

- ✓ 地域産**再エネの域外流出抑制**
- ✓ 完成した**施設による税収**（市の自主財源確保）

- ✓ 市民の**利便性向上**
- ✓ テナント型データセンターの**需要喚起による施設集積の可能性向上**

- ✓ 地域で生まれる膨大な**再エネを活用した公共交通課題の解決**
- ✓ **水素利活用**による産業全体の脱炭素化



ご清聴ありがとうございました。

